



今回は最近家族にお迎えすることが増えてきた

“ウサギ”について♪

まず、ウサギは夜行性で明け方と日暮れ頃に最も活動します。
ですがお家に迎え人の生活リズムに適応できます。

【うんちの大切さ】

ウサギの健康把握として**大切なのはうんち=便**です！

通常便以外に盲腸便をします。

盲腸便は、栄養価が高く食べないと栄養不足になることも…
通常便よりも柔らかくツヤツヤしているのが特徴です。

日頃の便の大きさと量は把握していますか？

便が減ってきたら危険なサインです。

【食事】

メインは、**牧草(チモシー)**で、**ペレット・野菜**。

大人になるにつれ、新しいものは口にしません。

子供のうち色々な食事を与えて！！

(例えば野菜は、小松菜・にんじん・チンゲン菜など)

大好物を見つけましょう！

食欲がなくても食べてくれるものを見つけましょう。

【室温・湿度】

室温:18度~24度

湿度:40%~60%

基本的に暑さに弱い。

日光浴は必要ありません。

～一般的なウサギのバイタル基準値～

体温:38.5~40℃

心拍数:130~325回/分 呼吸数:30~60回/分



ウサギの病気も様々あり

不正咬合・スナッフル・ダニ・骨折も…あります。

中でもよく診る病気が**《食滞・うっ滞》**です。

食滞とは、常に動いていなければならない消化管が働かず
食べたものが流れずとどまってしまう病気。

お腹の中が発酵し、ガスが溜まり痛くなります。

症状として、食欲低下・元気ない、うんちの量が減り小さいなど…

『何も食べない、うんちが出ない』を数日様子見するだけで

命を落としかねない病気なのです！



病院で連日注射治療と強制給餌をし、体力を落とさないようにします。

体調が戻ってきたらお薬を出していきます。

⚠ 食滞の際の注意事項 ⚠

とにかく食べさせるのがお家での治療ですが、
無理やり与え**ストレスになると逆効果**です。

クッキーなどの糖質・穀類は、ガスが溜まるので禁止
牧草・野菜・ペレットはドライとふやかしドライなど、
色々な種類の食事を並べ、食べた物を食べ放題に！



ウサギは、**温厚で人に従順な子が多い**です。

しかし、**性格は神経質で臆病さんが多く**

環境の変化に対応できず体調を崩すことが多いです！

小さい体なので、体調の悪化も早いエキゾチックアニマル達…

日頃のお世話での**観察が大切**になってきます。

